

## 第3学年 国語科学習指導案

児童 3年1組 男22名 女16名  
 指導者 佐々木 忍

育てたい主となる能力（基礎・基本）

・書こうとする事を中心を明確にしながら，段落と段落との続き方に注意して書くこと。（書工）

1 単元名 まとまりに分けて書こう  
 教材名 せつめい書を作ろう

2 子どもと単元について

(1) 子どもたちは，これまで「書くこと」の学習として，「おもしろいもの，見つけた」では，知らせたい相手や内容に応じて自分の考えが明確になるように事柄ごとのまとまりを意識して書くことを学習した。その中で，相手に知らせるために必要な情報を収集・選択してカードに整理し組立て表を作る言語活動を行った。組立て表を作る際，共通題材と自由題材で2回繰り返して作る活動を取り入れたことにより，事柄ごとのまとまりを意識し，考えながら書くことができるようになってきた。また，「本は友だち」では，本のおび作りを通して，誰に何を伝えるのかを意識しながら書くことを学習し，相手・目的に応じて，適切に書くことができるようになってきた。日常的には，週末日記を取り入れ，身の回りのことや学校生活での出来事，家庭での様子を教師に知らせたり，探検学習や校外学習などでお世話になった方々へお礼のお手紙を書く活動を行ったりしている。

これらの学習を通して，読み手を意識し，自分の考えが明確になるように，段落意識をもって文章を書こうとすることができるようになってきている。

(2) 本単元「まとまりに分けて書こう」は，相手に自分の経験したことなどが明確に伝わるように，事柄ごとのまとまりを意識し，伝えたい事を中心が相手によく分かるように，段落を考えて書くことができるようにすることをねらいとしている。

本教材「せつめい書を作ろう」は，自分が経験して上手になったことや得意になったことを，まだできていない相手に教える目的で分かりやすい説明書を作るという教材である。事例作文は，一輪車に乗る方法を友達に教えるという目的で書かれた説明書であり，次のような工夫をして書かれている。まず，できるまでの過程を段階的に区切り，小見出しを付けて説明していくという段階意識を踏まえている。また，様子を具体的に表す言葉，呼びかけや励ましの言葉などを使うことで，より相手を意識した叙述の工夫を行っている。さらに，絵や図を説明の補助として活用したり文末を常体で統一し簡潔に書いたりすることで，説明をより分かりやすくしている。

このように，伝えたい事について大切な事を明確にしながら，組立てを考えて書く力や，段落を考えて書く力を身に付けることができる単元であると考えられる。

(3) 本単元では，基礎・基本の定着を図るために，自分の得意なことを分かりやすく説明する文章を書くという領域の特性を生かした言語活動を行う。

- ・説明書作りに必要な事柄（材料）を取材する。 （「見通す」段階）
- ・説明書全体の構成を考えて組立て表を作る。 （「作る」段階）
- ・組立て表をもとにして，説明書を書く。 （「作る」段階）

単元の学習を進めるに当たっては，下記の5つの言語活動を明確にする。

相手意識	学級の友達に
目的意識	経験して上手になったり得意になったりしたことを発表会で伝えるために
場面・状況意識	分かりやすい説明書を作る。
方法意識	事柄のまとまりを意識して，段落を考えながら説明書を書く。

評価意識

説明書が分かりやすかったかどうかについて、書いてもらった交流カードをもとに自己評価する。

ここで身に付けた「分かりやすく説明する文章を書く力」は、国語科、他教科、他領域の学習に生かすことができる。例えば、総合や理科の学習の中で、作り方や調べ方など大切なことを明確にしながらかくことで、分かりやすく伝えることができ生かされるものとする。また、日常活動では、学級レクのやり方やゲームのルールなどを書いて説明する時にも生かされるものとする。

3 学習指導目標及び評価規準

	学 習 指 導 目 標	評 価 規 準
国語への 関心・意欲・態度	説明しようとする事柄を思い起こして、読み手によく分かるように説明書を作ろうとする。	・説明しようとする事柄を思い起こし、説明しようとする目的をもって、自分の得意なことを分かりやすく説明する文章を書こうとしている。
書く能力	説明したいことの中心が読み手によく分かるように、説明書を書くことができる。 (書 エ) 自分の考えが明確に伝わるように、まとまりを考慮することができる。 (書 ウ)	・自分の得意なことが読み手によく分かるように、事柄ごとのまとまりを意識しながら説明書を書いている。 ・自分の考えがよく分かるように、まとまりを考えて小見出しを付けている。
言語についての 知識・理解・技能	句読点を打ち、段落の始めは行を改めて書くことができる。(言ウ (イ))	・句読点を適切に打ち、段落の始めは行を改めて書いている。

4 学習指導計画及び評価規準

13時間(書 13)

過 程	学習内容と主な学習活動	評 価 規 準 <評価方法>		
		国語への 関心・意欲・態度	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
見 通 す	説明書の特徴を知ること ・説明書を持ち寄り、その特徴に気付く。 ・漢字や語句の学習をする。 1時	説明書の特徴を進んで考えようとしている。 <発言, 態度>	持ち寄った説明書を見比べ、共通点を書き出している。 <ワークシート>	新出漢字の読みや語句の意味について理解している。 <音読, ノート>
	学習の見通しをもつこと ・自分が自慢できることや得意なことを発表し合いそのことを説明書にする見通しをもつ。 2時	単元の見通しをもち学習内容を把握しようとしている。 <発言, 態度>	今まで自分ができるようになったことや得意なことを見付けて、書き出している。 <ワークシート>	新出漢字の読みや語句の意味について理解している。 <音読, ノート>
学 ぶ	説明書の書き方を理解すること ・事例作文の文章構成を理解し、叙述の工夫に気付く。 1・2時	事例作文から、文章構成や説明書特有の叙述のきまりや工夫を見付けようとしている。 <発言, 挙手>	事例作文の文章の構成と段落の関係、記述の特徴などについて理解している。 <発言, ワークシート>	横書きのきまりや数字のきまり、コンマの書き方などを理解している。 <ワークシート>

作 る	<p>共通題材で、組立て表を作ること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組立て表を作る。</li> </ul> <p>1時</p>	<p>共通題材で組立て表を作ろうとしている。</p> <p>&lt;組立て表&gt;</p>	<p>共通題材で事柄ごとのまとまりを意識した組立て表を作っている。</p> <p>&lt;組立て表&gt;</p>	<p>句読点の打ち方に気を付けて書いている。</p> <p>&lt;文章&gt;</p>
	<p>説明書を書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組立て表を基に、説明書を書く。</li> </ul> <p>2時</p>	<p>読み手に分かりやすい簡潔な説明の文章を書き、書き方を確認しようとしている。</p> <p>&lt;文章&gt;</p>	<p>段落について確認しながら説明の文章を書いている。</p> <p>&lt;文章&gt;</p>	<p>句読点の打ち方や改行の仕方に気を付けて書いている。</p> <p>&lt;文章&gt;</p>
	<p>自由題材で組立て表を作ること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題名を決めて、目次立てをする。</li> <li>・書く事柄を選び、目次ごとに書く内容を決めて、組立て表を作る。</li> </ul> <p>3時</p>	<p>書く事柄と段落を意識しながら組立て表を作ろうとしている。</p> <p>&lt;組立て表&gt;</p>	<p>題名を決めて目次を立て目次の項目ごとに書く内容を決めて組立て表を作っている。</p> <p>&lt;組立て表&gt;</p>	<p>段落の役割について理解している。</p> <p>&lt;組立て表&gt;</p>
	<p>組立て表を基にして、説明書を記述すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目次と前書き部分を記述する。</li> </ul> <p>4時</p>	<p>事例作文を基に、前書きを書こうとしている。</p> <p>&lt;態度&gt;</p>	<p>事例作文を基に、意欲を促す前書きを書いている。</p> <p>&lt;説明書前書き&gt;</p>	<p>句読点の打ち方に注意して書いている。</p> <p>&lt;説明書前書き&gt;</p>
	<p>組立て表を基にして、説明書を記述すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明書の前半を記述する。</li> </ul> <p>本時 5時</p>	<p>上手になったことや得意になったことについて、読み手に分かりやすく伝えるような説明書を書こうとしている。</p> <p>態度</p>	<p>読み手に伝えたい事がよく分かるように、一つの内容を一つの文で書いている。</p> <p>&lt;説明書前半&gt;</p>	<p>句読点の打ち方や改行の仕方に注意して書いている。</p> <p>&lt;説明書前半&gt;</p>
	<p>組立て表を基にして、説明書を記述すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明書の後半を記述する。</li> </ul> <p>6時</p>	<p>上手になったことや得意になったことについて、読み手に分かりやすく伝えるような説明書を書こうとしている。</p> <p>態度</p>	<p>読み手に伝えたい事がよく分かるように、一つの内容を一つの文で書いている。</p> <p>&lt;説明書後半&gt;</p>	<p>句読点の打ち方や改行の仕方に注意して書いている。</p> <p>&lt;説明書後半&gt;</p>
	<p>推敲し、清書すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書いた説明書を読み返し、分かりやすいところを見付けたり、手直しをしたりする。</li> <li>・清書をして、説明書を仕上げる。</li> </ul> <p>7・8時</p>	<p>自分が書いた文章のよいところを見付けようとしたり、間違いを直そうとしたりしている。</p> <p>&lt;推敲&gt;</p>	<p>書いた文章に内容を付け足したり、書き換えたりしながら、より分かりやすい文章に直したりしている。</p> <p>&lt;推敲&gt;</p>	<p>誤字や脱字がないか確かめている。</p> <p>&lt;推敲&gt;</p>
広 げ る	<p>説明書発表会を行い、感想を交流すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の説明書のよさに気付き、発表する。</li> <li>・説明書の通りに体験してみる。</li> </ul> <p>1時</p>	<p>発表会で友達の説明書のよさに気付き、感想を話そうとしている。</p> <p>&lt;感想発表&gt;</p>	<p>説明書を読み、分かりやすい表現や工夫が見られる点などを交流カードにまとめ、それをもとに自分の説明書を振り返っている。</p> <p>&lt;交流カード&gt;</p>	<p>表現したり理解したりするために必要な語句を増やしている。</p> <p>&lt;感想&gt;</p>

広げる	説明書発表会を行い、感想を交流すること ・友達の説明書のよさに気付き、発表する。 ・説明書の通りに体験してみる。 1時	発表会で友達の説明書のよさに気付き、感想を話そうとしている。 <感想発表>	説明書を読み、分かりやすい表現や工夫が見られる点などを交流カードにまとめ、それをもとに自分の説明書を振り返っている。 <交流カード>	表現したり理解したりするために必要な語句を増やしている。 <感想>
広げる	説明書発表会を行い、感想を交流すること ・友達の説明書のよさに気付き、発表する。 ・説明書の通りに体験してみる。 1時	発表会で友達の説明書のよさに気付き、感想を話そうとしている。 <感想発表>	説明書を読み、分かりやすい表現や工夫が見られる点などを交流カードにまとめ、それをもとに自分の説明書を振り返っている。 <交流カード>	表現したり理解したりするために必要な語句を増やしている。 <感想>

## 5 本時の指導

### (1) ねらい

経験して上手になったことや得意になったことについて、読み手に分かりやすく伝わるような説明書を書こうとしている。

読み手に伝えたい事がよく分かるように一つの内容を一つの文で、説明書を書くことができる。

### (2) 展開

前時までの学習	学習内容 ・組立て表を基に、目次と前書き部分を記述すること 言語活動 組立て表を基に、目次や前書きを記述する。 できたところまで読み合い、よさを話し合う。 支援 ・組立て表の項目を基に、事例作文と比較しながら書くことができるようにする。			
過程	学習内容・学習活動	形態	支援	「主発問」 評価 <評価方法>
課題をつかむ	1 前時の学習を想起すること (1分)	全	・前時に作成した目次と前書きについて想起する。その際、組立て表の項目を基に、事例作文と比較しながら書くやり方を確認することで、本時の学習への意欲をもつことができるようにする。	
	2 学習課題を把握すること (2分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">伝えたいことが、読む人によく分かるようなせつめい書を書こう。</div>	全	・書きたい事やそれを伝えたい相手を発表し合うことで、相手に分かるように書こうとする意欲を高めることができるようにする。  課題を確認し、文章を書く意欲をもつことができたか。 <発言・表情>	

説 明 書 を 書 く	<p>3 記述の観点を確かめること(10分) (1) 記述の観点を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;よい説明書の書き方&gt; 組立て表の内容に合わせて、一つの内容を一つの文で書こう。 内容をくわしくする言葉「どこで、何を、どれくらい、どのように」などを入れて書こう。 文の終わりは、 する。のような、ふつうの言い方で書こう。 一言アドバイスやはげましの言葉なども書いてみよう。</p> </div> <p>4 説明書を書くこと (1) 記述の観点に沿った分かりやすい説明書を書く。(22分)</p>	<p>全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例作文を通し、読む人に分かるように書くためのやり方を、既習事項の掲示や教師作成の組立て表を活用しながら確認できるようにする。その際、不十分な説明書を提示し、説明書を書くための大切な観点を確かめることができるようにする。</li> </ul> <p>「読む人に分かるように書くには、何に気を付けて書くのでしたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの掲示やワークシートを手がかりに見付けられるようにする。</li> </ul> <p>「読んだ人がやってみたくなるような分かりやすい説明書を書きましょう。」</p> <p>個</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことが読む人によく分かるような説明書にするために、組立て表を基に記述の観点に沿って書くことにより、分かりやすい説明書を書くことができるようにする。</li> </ul>

<p>5 文章を読み合い、よさを学び合うこと(8分) (1) 友達の説明書を読み合い、よさを交流し合う。 (2) 自分の説明書を見直す。</p>	<p>全</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>A 読み手に伝えたいことがよく分かるように、内容をくわしくする言葉やアドバイスを加えながら、一つの内容を一つの文で、説明書を書いている。</p> <p>B 読み手に伝えたいことがよく分かるように、一つの内容を一つの文で、説明書を書いている。</p> <p>C への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組立て表のまま書いている場合は、事例作文の様子の書き表し方を見直すように説明し、くわしく書くことができるようにする。</li> <li>・一文に書かれた内容が一つのことになっているか見直すようにする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">&lt;記述用紙&gt;</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早く書き上げた子どもには、文や文字の見直しまたは挿し絵を描く指示を出すことで、より相手に分かりやすく伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>「友達の文章を読んで、分かりやすく書いているところを見付けましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の組立て表と文章を比較することで、読み手に分かるように書いているところに気付くようにする。</li> <li>・教師が、児童の説明書を紹介することにより、分かりやすい文章の書き方を確認することができるようにする。</li> </ul> <p>個</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の説明書について、分かりやすい部分を見付けながら見直す。</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------	----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>まとめ</p>	<p>6 学習のまとめをすること (1) 学習について振り返り、自己評価をする。(1分)</p> <p>7 次時の学習の見通しをもつこと (1分)</p>	<p>個 全 全</p>	<p>・本時の学習を振り返り、自己評価カードを活用して自分のがんばりや学習の成果を実感し、成就感をもつことができるようにするとともに、次の記述への意欲につなげることができるようにする。</p> <p>・次時は、説明書の後半部分を書くことを伝え、意欲付けをする。</p> <p>読み手に分かりやすく伝わるような説明書を書こうとしていたか。  <small>&lt;挙手&gt;</small></p> <p>読み手に伝えたい事がよく分かるように、一つの内容を一つの文で、説明書を書くことができたか。  <small>&lt;記述用紙&gt;</small></p>
<p>次時の学習</p>	<p>学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組立て表を基に、説明書の後半部分を書くこと</li> </ul> <p>言語活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組立て表を基に、説明書を記述する。</li> <li>読み手に対して、分かりやすく書かれているところを話し合う。</li> </ul> <p>支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の文章や友達の文章から、分かりやすく書かれているところを話し合うことで、推敲の目安となるようにする。</li> <li>・相手が読むことを意識しながら書くことを確認する。</li> </ul>		